

古代遺跡を爬虫類が占拠!? 動物園をより楽しく

沖縄県沖縄市

「沖縄こどもの国」は、沖縄県内で唯一の動物園や「ワンダーミュージアム」「ふるさと園」などで構成される複合施設です。県外からの誘客も見据えた独自性ある展示内容を目指し、近年目覚ましいリニューアルを遂げ進化し続けています。

クマ舎など「里山の迷宮」エリア整備（「岡三マンスリー」2022年1月号記事）に続いて新たに整備されたのが、「密林にある遺跡」をデザインコンセプトとして亜熱帯地域の哺乳類や爬虫類を展示する「ハンターの潜む秘境」エリア。子供に人気のワニ・カメ・蛇など爬虫類やジャガー、オオアリクイなど十数種の動物を立体的な視点から観察できる施設です。

この展示施設は全体として熱帯雨林に残されたいにしへの文明遺跡をイメージし岡三リビックの「人工岩 ロッキーステージ」によって造形されており、石造建築の表現とともに、展示するワニなどをモチーフとした



モルタルで造形された壁面やレリーフ

レリーフや文様をあちらこちらに散りばめています。

また展示空間どうしを複雑に配置しエグゾチックな樹種やツタ等で順路を装飾することで、先を見通しにくくしながらちょっとした探検家気分が創出されるよう順路も工夫されました。

岡三リビックは、同施設をはじめ日本各地の動物園で展示空間の造形を数多く担当。動物達の生態に迫り興味をもって観察できる場所づくりに日々奮闘しています。



工事概要

- 発注者 : 沖縄市企画部
プロジェクト推進室
- 工事名 : 沖縄こどもの国ワニ舎周辺
エリア整備建築工事
- 施工業者 : 仲本工業株式会社
- 商品名 : ロッキーステージ
約950m²

お国自慢

厳寒焼肉
ジオテクノ部 岩崎凌子

皆さんは外での焼肉といったら、どんな時期にやりますか？きつと冷たいビールがおいしい夏の暑い時期ではないでしょうか。そんな皆さんも耳を疑いたくなるような北海道・北見市の真冬のイベントをご紹介します。

北見市は私が大学時代を過ごした北海道東部に位置する人口約十一万人の都市です。そんな北見市では寒さが最も厳しい二月に「北見厳寒の焼き肉まつり」と呼ばれる屋外イベントが開かれます。北見市の二月の気温は平年で最高マイナス三度、最低マイナス十一度ほど。しかし約二千人分のチケッとは毎年開催日前に完売してしまう人気です。

この気温の中、外で焼肉をやったら、気がつくとなれが凍っています。肉も持ち上げて数秒で冷たくなります。お湯割りで飲んでいた焼酎もあつという間にキンキンな水割りです。…という話だけでは何か罰ゲームのようですが、そんなことありません。仲間とわいわい楽しんで、肉がとても美味しい！

北見市の厳しい寒さと美味しい焼肉をいっぺんに楽しめる体験をぜひ一度。きつと忘れられない思い出になります。ご参加の方は、頭の前からつま先までくれぐれも防寒対策をお忘れなく！

低密度ポリエチレン被覆線材の 高耐久性築堤マット

リーフマット Reefmat



従来、港湾等で用いる築堤マットは亜鉛めっき鉄線製のかごが主で、耐用年数は約3年程度とされ主に仮設用として使用されることが多い資材でした。

しかし、ポリエチレンアイオノマー被覆線材を使用した「リーフマット」は耐久性試験で50年以上相当の数値を実現。また柔軟性と剛性の両立により、ケーソン周辺の根固め工や漁礁・増殖礁等にも利用できます。

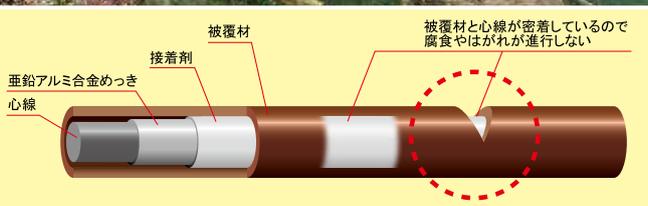
その秘訣は被覆材と心線の材質どうしの強固な密着。亜鉛アルミ合金めっき鋼線の心線が保護され、錆の発生を抑えることで長いライフスパンを実現しています。

「リーフマット」は、鉄錆が常識であった様々な場面においてメンテナンスコストを大幅に下げることができる商品です。

強度 心線に亜鉛アルミ合金めっき鋼線を用い（引張強度1,000N/mm²以上：従来製品の鉄線に比べ約2倍の引張強さ）、強度に優れます。

耐久性 リーフマットの被覆線は耐摩耗性に優れ、接着強度70N/cmを有しており、海水浸入を防ぎ50年以上の耐久性を実現。本設としても使用可能です。

生物共生 中詰め材の空隙が多様な生物の棲息を促すだけでなく、被覆線に石灰藻などが付着することで摩擦しにくくなり、マイクロプラスチック化を防ぎます。



用途 柔軟性と強度を備えていることから、海岸周辺の様々な用途に適用が可能。リーフマットに繁茂した藻が豊かな生物層を呼び込むなどしています。



その他離岸堤・増殖礁・浜崖後退抑止工等

・クズ 和菓子の材料や葛根湯などでおなじみ。アメリカでバルコニー飾りやのり面安定用として輸入したものが、いまや九州に匹敵する面積に自然繁茂。地場植物の成長を阻害するなどの問題を生じ、侵略的外来種に指定された。

・イタドリ その花のかわいさでイギリスの庭園用にもはやされたが、天敵となる害虫や他植物がいなかったため好き放題に成長し歯止めがかからない事態に。宅地内でのイタドリ自生の有無が事故物件並みに不動産価値を左右している。

イギリスではイタドリマダラキジラミという天敵の虫まで日本から持ち込んで対策しようとしているが、余計に傷口が広がらないことを祈るばかりだ。

ご迷惑をお掛けします

近年日本では、ブラックバス、アライグマ、それにヒアリなど、外来生物を巡る様々なトラブルが顕在化している。しかし実は、我が日本由来の生物も、海外でえらく迷惑をかけているようだ。

・ワカメ 世界の港湾で繁茂し、海中設備を故障させたり、養殖エビのケージを取り巻いてエビが大量死するなどしている。しかも、海外の方々にはワカメを消化できる体内酵素がないとされ、食料に転用することができない。



記：編集T